



10月24日・25日の両日、第69回日本学校農業クラブ全国大会平成30年度鹿児島大会に出場しました。農業鑑定競技は南さつま市の鹿児島県立加世田常潤高校で、家畜審査競技は鹿屋市の肝属中央家畜市場で行われました。

全国から、農業を学ぶ高校生が一堂に会して日々の学習の成果を競う、「農業高校の甲子園」で、鹿児島県では57年ぶりの開催です。各地での予選を勝ち抜いた高校生が鹿児島に集結、全体で約4,000人が結集しました。

鹿児島市内からは、桜島からわずかに火山性ガスが噴出している様子が見えました。鹿児島県内各地で今年の大河ドラマ「西郷どん」に関連するパネルがあって、明治維新150周年の活気を感じました。

テレビの天気予報では、必ず火山灰予想を放送していて、活火山が近くにあることを実感しました。

結果は、家畜審査競技で優秀賞を受賞することが出来ました。鹿児島アリーナでの大会式典での歓迎レセプションにはじまり、開会宣言から結果発表まであっという間に過ぎていきました。各部門の最優秀賞受賞のチームや個人がどんどんと登壇していました。

来年度は、南東北大会で山形県を中心に福島県・宮城県で開催されます。